

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

「公的医療機関等2025プラン」にかかる今後の方針等の見直しについて

経緯

- ▼ 新型コロナウイルス陽性となったがん患者を受け入れるための病床確保
- ▼
- ▼ 上記に伴う、がん患者を受け入れる病床の減
- ▼
- ▼ 地域包括ケア病棟入院料の施設基準辞退による回復期病床の再配置
- ▼
- ▼ 新型コロナウイルス感染症受け入れおよび、がん診療における急性期から回復期、終末期まで適切な医療・ケアを提供するための病棟再編

見直し後の変更

新型コロナウイルス
(新興感染症)
対応病棟の設置

病棟ごとの病床機能

急性期
【がん治療】



急性期
【新型コロナウイルス】

緩和ケア病棟を
在宅復帰支援に活用

病棟ごとの病床機能

急性期



回復期

回復期病床を
集約から分散へ

病棟ごとの病床機能

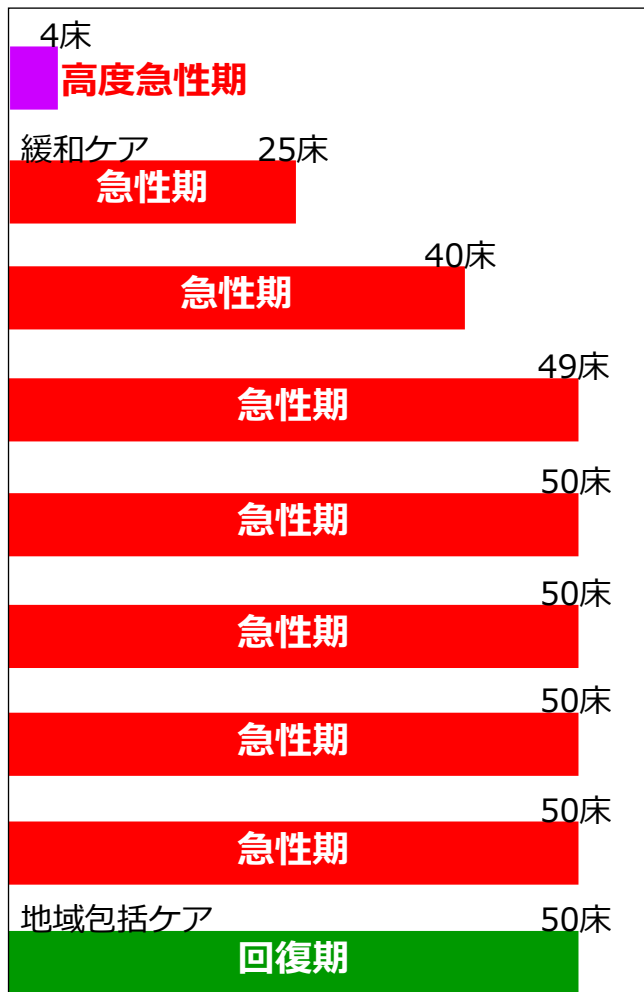
回復期

【地域包括ケア】

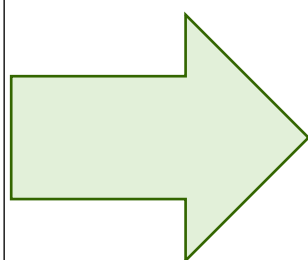


(各病棟に分散)

見直し前



病棟ごとの病床機能	病床数
高度急性期	4
急性期	314
回復期	50



見直し後



病棟ごとの病床機能	病床数
高度急性期	4
急性期	339
回復期	25